

What's New?

—YAコーナーに新しく入った本をご紹介します—



『ゴーストハント 7 扉を開けて』(角川文庫)

小野 不由美/著 角川文庫 KADOKAWA



高校生の主人公・麻衣と、心霊現象の調査研究を行う渋谷サイキックリサーチ(SPR)の面々が活躍するシリーズの文庫版・最終巻です。漫画化・アニメ化もされているこの大人気シリーズは、個性的な霊能者たちのキャラが魅力的で、思わず震え上がるホラー要素や、徐々に謎が明かされていくミステリー要素、そして麻衣の気になる恋の行方など、様々な要素を楽しむことができます。読書の秋にぴったりの長編シリーズ、ぜひ一巻から読んでみてください。



『学校では教えてくれない 自分を休ませる方法』

井上 祐紀/著 KADOKAWA



みなさんは最近、しっかりと休めていますか？疲れやすい、イライラする、前向きな気持ちになれない…そんなふうを感じたら、心や体が休みを求めているサインかもしれません。「休む」という言葉には、なまける、さぼる、といったネガティブな印象を持たれがちですが、休息をとってリフレッシュすることは、誰にとっても必要で大切なことなのだ、この本では教えてくれます。イヤな気持ちにさせる原因を探り、自分に合った「休み方」を見つけてみませんか？



『昆虫記 すばらしきフンコロガシ』

ファールブル ショートセレクション

ジャン＝アンリ・ファールブル/著 奥本 大三郎/訳
ヨシタケ シンスケ/絵 理論社



あなたには時間を忘れて熱中するものがありますか？この本は、昆虫学者ファールブルが一生をかけて書いた昆虫の観察記録と思い出です。自分が本当に好きなことの価値を信じて、力を尽くした人と自然の物語です。他人が興味を持たなくても、自分の好きなことととことん突き詰めて行うことの大切さを感じる一冊です。

◆本の表紙掲載については、出版社の許諾を得ています。

長岡市立地域図書館(7館)

- 互尊文庫 TEL35-7981
 - 中之島地域図書館 TEL61-2165
 - 西地域図書館 TEL27-4900
 - 寺泊地域図書館 TEL75-5159
 - 南地域図書館 TEL30-3501
 - 栃尾地域図書館 TEL53-3005
 - 北地域図書館 TEL22-7100
 - ◎お問い合わせは北地域図書館へ
- 〒940-0876 長岡市新保町 1399-3 mail:lib.kita@nscs-net.ne.jp
図書館ホームページ <https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>

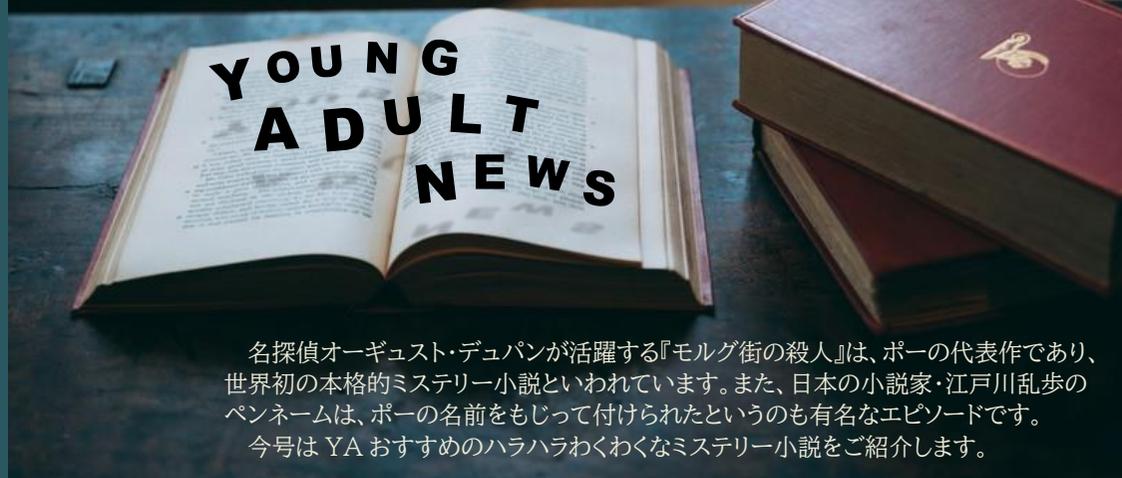
編集・発行/指定管理者 株式会社図書館流通センター(TRC)

2021.9.1発行

YAN Autumn 2021 vol.80

MYSTERY

10月7日はミステリー記念日。ミステリー小説の生みの親とも称されるアメリカの小説家エドガー・アラン・ポーの命日です。



名探偵オーギュスト・デュパンが活躍する『モルグ街の殺人』は、ポーの代表作であり、世界初の本格的ミステリー小説といわれています。また、日本の小説家・江戸川乱歩のペンネームは、ポーの名前をもじって付けられたというのも有名なエピソードです。今号はYA おすすめのハラハラわくわくミステリー小説をご紹介します。

『放課後探偵 2』(創元推理文庫)

青崎 有吾、斜線堂 有紀、武田 綾乃、辻堂 ゆめ、額賀 滯/著
中村 至宏/装画 岡本 歌織(next door design)/装幀
東京創元社

この本は、1990年代生まれの作家たちが描く、学園を舞台にしたミステリーアンソロジーです。

部室内での盗難事件、合唱コンクール直前での楽譜黒塗事件、極めつけは殺人事件まで…。非日常的な出来事が起こり、生徒が探偵に扮する学園探偵がアリバイトリックを推理・解決していく様子が見事です。どの作品も読み応え充分で、初めてミステリーを読む人にもおすすめです。



ヤングアダルトとは、12歳～18歳くらいのみなさんのことです。

1



2



3



4



5



秋の夜長にミステリーはいかが？

『君に読ませたいミステリーがあるんだ』

東川 篤哉／著 実業之日本社

文芸部に入部希望していた「僕」は、間違えて第二文芸部の部室に行き、ただ一人の部員である水崎アンナと出会います。水崎は度々「僕」に問答無用で自作の連作短編ミステリー『鯉ヶ窪学園の事件簿20XX 年度版(仮)』を無理やり読ませますが…。ツッコミどころ満載の動機やトリック、「僕」と水崎との掛け合い、そして最後の「僕」への罠が絶妙な青春ミステリーです。

『本と鍵の季節』 米澤 穂信／著 集英社

高校で図書委員を務める堀川次郎と松倉詩門。放課後の図書室で暇をもてあます彼らの元に、次々と謎が持ち込まれます。開かずの金庫の番号を当ててほしい、自殺したクラスメイトが最後に読んでいた本を探してほしい…など。様々な謎を二人で解き明かしていくうちに、彼らの意外な悩みが見え、同時に友情も深まっていきます。男子高校生が挑む全六編のミステリーをお楽しみください。

『ロイヤルシアターの幽霊たち』

ジェラルディン・マコックラン／著
金原 瑞人／訳 吉原 菜穂／訳 小学館

海辺の町にある寂れた劇場のロイヤルシアターは、悲しみを抱えた幽霊たちの住処となっていました。そこに、劇場の再開を夢見るウォルター夫妻と娘の 그레이シーがやってきます。幽霊を見ることができる 그레이シーは、初めは幽霊たちに煙たがられていましたが、それぞれが抱えた憂いを晴らし、少しずつ受け入れられていきます。幽霊たちとも打ち解け、幸せいっぱいな 그레이シーでしたが、思いもかけない展開が待っていて…。個性的な幽霊たちと少女が起こす奇跡の物語です。

『令夢の世界はスリップする』

赤い夢へようこそ ー前奏曲ー
はやみね かおる／作 緒賀 岳志／絵 講談社

谷屋令夢はその年の春まではいたって「普通の女の子」でした。しかし、ある日突然平行世界を往来する能力「スリップ」に目覚めます。そしてスリップした先の世界で起きた事件を、幼なじみの内藤内人とともに調査しはじめ…。この内藤内人、じつは同じ作者の「都会のトム&ソーヤ」シリーズの主人公。彼の他にも別作品の主要キャラが多数登場しており、ファンにはたまらない一冊です。これをきっかけにはやみねワールドに飛び込んでみませんか。

『ルパン 最後の恋』

モーリス・ルブラン／作 那須 正幹／文 ポプラ社

美しい貴族の娘 コラ・ド・レルヌは、父親の突然の死をきっかけに陰謀の渦中に投げ込まれる。消えた一億フランの行方、イギリス王室の後継者争い、かつてルパンの先祖が手に入れたジャンヌ・ダルクの告白書を狙うスパイ…。

変幻自在の怪盗紳士アルセーヌ・ルパンの最後の冒険と推理、恋の物語をお楽しみください。